

## 第2回吉野川市中小企業者等振興対策協議会会議録要旨

- 1 招集年月日 令和元年7月4日(木)  
午後2時から午後3時25分(1時間25分)
- 2 招集の場所 吉野川市役所 東館2階 221会議室
- 3 出席委員 7人
- 4 出席職員 事務局3人
- 5 傍聴人 1人(徳島大学生)
- 6 会議日程
  - 1) 開会
  - 2) 協議事項
    - ① 吉野川市商工振興プレゼン大会について
    - ② 施策の見直しについて
  - 3) 閉会

### 7 会議の経過

#### 【日程2 協議事項】

- ◆ 協議事項 (1) 吉野川市商工振興プレゼン大会について  
(2) 施策の見直しについて

会長 (1) 吉野川市商工振興プレゼン大会について、事務局から説明をお願いします。

事務局 (事前配布資料の説明)

会長 ただ今の説明についてご質問をお願いしたいのですが、その前に第4回協議会の日程変更をお願いします。

事務局 後日、調整をさせていただきます。

会長 それでは、プレゼン大会の開催場所はどうでしょうか。私はお祭りに来た方が気軽に見ることのできる場所を提案したいと思います。

事務局 (銀座通り側) 旧ファンキータイムの扉は開け放しておいても大丈夫とのこと。銀座通りは飲食ブースになる予定です。

会長 プレゼンは継続して実行をする方針なので、今回は無難に建物の中で様子を見て、今後どうするかを検討しても問題はないかと思います。ただ、お祭りと講演会をセットにし、人を拘束してしまうと、物販からお客さんを奪うため、そこは気になる場所です。一回目からベストを求める必要はないので、リスク部分は次回に活かしていけたらと思います。

委員 一般客の想定人数はどれぐらいでしょうか。

事務局 旧ファンキータイムは広いため、30~40人は十分入ること

ができると思います。

委員 協議会メンバーにプレゼンターの関係者を入れると20～30人にはなるかと思いますが。第1回目なので、一般の方については何かしているなど足を止めるくらいで十分ではないでしょうか。今後プレゼンが定着してくると、聞きたい方は椅子がなくても聞くようになるのではないのでしょうか。

事務局 旧ファンキータイムですが、家主との交渉中です。

会長 プレゼンターについて具体的にわかっているのであれば教えてください。

事務局 総合型スポーツクラブと本市の若手プロジェクトチームによる藍の産業化です。商工会からはキャッシュレス等の事業をされている原田さんと鴨島ごくろう株式会社さんをお願いをしています。

会長 JCはどのような感じですか。

委員 今は未知数です。正式な案内は来ますよね。

事務局 はい。また、皆さまの中で推薦をしたい方がいらっしゃいましたらお願いしたいと思います。

委員 傍聴席にいる大学生の方とかどうでしょうか。

会長 プレゼン大会の終わり方はどうでしょうか。

委員 傍聴者が一票ずつ投票をしてグランプリ、準グランプリを決めると盛り上がるのではないのでしょうか。

委員 例えば金融機関の方がいるので1時間の無料相談権がもらえるというのもいいですね。第4回協議会で具体的に金融機関等から後押しがあると匂わすのでしょうか。

委員 プレゼンの後日、第4回協議会で全チーム等しく検討してから当選者を発表するのか、もしくは2位までのチームのみについて検討をするのでしょうか。

会長 リノベーションスクールでは、プレゼンター考案のビジネスプランに対して審査員が質問をし、プレゼン者が応答をすることで問題や解決策が見えてくるといことをしています。これはコンテストではないので、投票はしない方が良いと思います。企業経営者や銀行員に来ていただき、オープンな場で質疑応答をする方が良いのではないのでしょうか。ただし、審査員の人材確保が難しいかもしれません。

委員 昔あったマネーの虎のようなイメージでしょうか。

会長 マネーの虎はシンプルにお金を出すものですが、基本の考え方は出てきたアイデアに対して批判ではなく公的な場で発表をし、応援をするというイメージです。既存の企業が二次起業や新規

展開のための宣伝機会としてプレゼンをし、周知の機会として、また行政も関わることでお墨付きがつく場になればいいなと思います。今後は企業がこの期間に合わせてプレゼンをする文化が出来ると盛り上がってくるかと思います。また、吉野川市役所では毎年若手職員が政策を考える機会があるようなので、この場で発表をして考える方が政策的にもなり得ると思います。

委員  
会長

(審査員として) 金融機関は難しいですね。

そうですね。変に現実になってしまうとですね。商工団体の方も難しいですね、個人としての発言になりますよね。

委員  
会長

その発言にどれだけ責任を持てるかということですね。

第1回目なので、そういう形にするか、パフォーマンスが勝負にはなりますが、来た方が投票をする形式にするのかですね。

順位が付くと、支援する場合どうするかです。その瞬間をもって良いと思うものは違う可能性があるという問題があります。

委員

ビジネスプランコンテストの審査員を何度もしていますが、プレゼン者は最後は評価をしてもらいたいですし、審査員が点を付けたり、来場者が応援したいところに一票ずつ入れて賞を付けると盛り上がりますし、発表者の励みにもなるので、イベントのつくりとしては良いと思います。事業化するかどうかは別の問題で、実現させるモチベーションの低いプレゼンターが1位になった場合や、計画の作り込みは不十分だけれども内容は地域の課題を解決するので皆でブラッシュアップして実現化をさせたいというプランの中にはあるかもしれません。イベント当日は賞与や評価をし、後日フォローアップもして事業化にもっていくと、切り分けるといいのではないかと思います。

委員

評価はプレゼンター全員分を聞いておかないとできないですね。プレゼンターは、お客さんを集める商売をする人と商売をするためのネタを集めたい人がいるかと思いますが、この場合はどちらでもいいのですよね。

会長

そうです。どうでしょうか、行政的にはだめかもしれませんが、私的には個人名(審査員の)で〇〇賞を2つぐらいがいいと思います。選定理由も審査員から発表してもらいます。

委員

発表をしてくれたことに対してのお礼を兼ねて発表チーム全てに思いつき賞だとか賞の名前を付けてはどうでしょうか。

会長

良さを兼ねたネーミングを私たちで出して表彰するという事ですね。一番良いですが難しいですね。鳴門ビジネスプランコンテストは最終的にはそれをしています。予選約20組から6組に絞り、2位までは賞金が出ますが、6組全てに名前を付

けています。

委員 プレゼンをするということ自体がたいしたものですから。(プレゼン大会を) 積み重ねてくるとセレクトされて選抜者がでてくるかと思いますが、今回は初めてですのですね。

会長 そうしましたら、全チーム分の賞をつくりましょうか。私たち主催者側の責任はありますからね。

委員 ここで求めるのは何らかの形でビジネスに繋がり、次の協議会で盛り立てたり、支援する仕組みをつくることですね。

会長 案件がまだわからないのですが、そのボトルネックとなっている部分の関係者に来てもらい審査してもらうのが本当は良いのかもしれない。

委員 今回は第1回目ということで、直感的に判断をするしかないということですね。

会長 パターンとしては、5組あれば、審査員は5人以上いますが、これをしたいというのがあれば、その公表担当になり、その良いところを言い、賞の名前を付けてもらうという感じですね。私が頑張って実現をさせますという人をその場で決める会ですがよろしいでしょうか。

委員 新居委員がプレゼンターとして出る場合はどうするのですか。

会長 別の者に出させるのではないのでしょうか。新居委員はJ Cを押すことはできませんが。

委員 商工会議所と商工会もそうなのではないのでしょうか。

会長 ずらしていかないといけませんね。

委員 これに賞金が出るとなると真剣になりますね。

会長 私はそれはしない方がいいと思います。お金は事業をして自分で儲けていただきたいと、それでは皆さんよろしく願います。場合によっては急遽、誰かの名前を借りて市役所賞を付ける必要があるかもしれません。

委員 市長名でしょうかね。

会長 現段階では(プレゼンの) 中身がわからないので決めようがありませんので、出てきた段階で内容を確認し、心づもりをしていただくというような感じでしょうか。

事務局 プレゼンターの方にご依頼をし、テーマ等が出てきましたら事前に資料としてまとめ、皆さまにお配りをさせていただきます。

会長 よろしく願います。場所ですが、旧ファンキータイムが一番良いでしょうか。

委員 今の内容でいくのであればその方が良いように思います。

事務局 一度ここでやらせていただけたらと思います。実はこの部屋で

すが上にあります電灯がつきません。暗いのも雰囲気が出ていいかもしれないのですが。

会長 無理して明るくするだけがいいわけではないですし、暗いのであれば去年J Cが使用していたLEDを部屋に敷き詰めるだとか、今年はLEDは使うのですか。

委員 まだそこまでの話にはなっていません。

会長 そうしたらLEDにしたらいいのではないのでしょうか。

委員 LEDはたくさんあると思います。

会長 どんどん大変になってきますが、イベントはそういうものですので。演出効果については気合いを入れてした方が良いと思います。後はメディアを呼び、映りを考えなければなりません。来年広報をする時に広報用の写真は重要で、動画も必要です。ケーブルテレビを呼び、番組にしてもらいます。また、壁にパネルを作り、撮影の際にはそれが映る工夫も必要です。カメラ位置も決めて撮影できるように工夫をしていきましょう。

委員 照明だけでもお金がかかりそうですね。J Cも予算はあるかと思いますが、そういうものにはついてないんですよね。

事務局 プレゼン大会に関しては市役所でしてくださいということですので、(J Cの) 予算云々については難しいと思います。

委員 椅子はこちらにある分でもいいですよ。また、プロジェクターを使うので暗くても良いとは思いますが、不特定多数の人が来ますので、ある程度通路は明るくしておく必要があると思います。

会長 キャンドルを並べますか。

委員 昔、照明から発火して死者が出た事件があったので、気をつけないと危険ですね。

事務局 その件については検討し、また皆さまにご提案をさせていただきます。

会長 J Cに電気屋さんはいないのでしょうか。

委員 います。去年利用したLED等を利用すれば熱の心配は軽減できると思います。メディアの演出をどうするかですね。

会長 市役所で寄附を募りましょう。

事務局 この日はハロウィンもするんですよね。

会長 我々は仮装をしなければなりませんね。お祭りの似的にするということですよ。後は、J Cの方々と相談して、できる範囲で考えていきましょう。賞は我々で決めて、意識的にケーブルテレビ映りが良い演出をし、それを来年の広報に使うようにすると考えています。交流会は会費制にするのでしょうか。

事務局 はい。会費をいただき、場所等については検討中です。イベント自体21時30分までと聞いていますので、プレゼン大会を20時ぐらいに終了し、そこから交流会という流れです。可能であればこの場所でするのがいいかもしれません。

委員 飲食ブースもありますので、この会場をフードコートみたいにしてその場で交流をしていただくということですね。

委員 良いですね。

会長 ビジョンの策定や数値目標は次回でもよろしいでしょうか。他何かプレゼン大会についてご意見等ございませんか。

委員 はい。

会長 続きまして、「(2) 施策の見直しについて」事務局から説明をお願いします。

事務局 (事前配布資料及び追加資料の説明前半)

会長 (山川のサテライトオフィスは) どういった方がされるのですか。

事務局 先ほどお話しをさせていただきました、キャッシュレス関係のお仕事をされているHさんという方です。人脈もあり活動的な方なので、2日前に聞いた話ですが、この機会にこの周辺へ補助金をつけることで賑わいが戻ってくるのではないかと考えています。

委員 本業は自動車関係ですよ。詳しくはわかりませんが、なかなかのやり手です。

事務局 そういった理由から商業地域活性化支援事業補助金についてはエリアの拡大を検討させていただこうかと思っています。

委員 できたらお願いしたいと思います。

会長 コワーキングの改修費用に補助金を使うということですか。

事務局 サテライトオフィス等には補助金は使わないのですが、この場所にサテライトオフィスができるので、ここを起爆剤として周辺に空き店舗がありますので、周辺の空き店舗の改修費と家賃補助を1年間させていただこうと考えています。

会長 この地域にサテライトオフィス等ができるので周辺でお店をする方が出てくるかもしれないため補助金のエリアを拡大することは正しい考え方ですね。

委員 はい。

事務局 (事前配布資料及び追加資料の説明後半)

委員 文言追加の最初の文書の意味がよくわかりません。

事務局 以前は要綱に改造等をする事業者は市外の方でも良いようになっていましたので、言い回しについては総務課の法令係とも協

議をさせていただきます。

委員 とくし丸の改造は徳島市内の事業者が一手にしていたと思います。吉野川市内に対応できる事業者がいればいいのですが。

委員 そこも調べなければいけないですね。

事務局 例外的な案件が出てきた場合に、ただし書きを記載させていただいています。

会長 ちなみに、とくし丸1台で年商はいくらあるのでしょうか。

事務局 調べていないためわかりません。

会長 基本的に地元の業者であれば、税金をいくら納めているかわかりますよね。そういうことはチェックするべきだと思います。

委員 以前資料で見たのですが、何パーセントではなく、1回いくらだったかと思います。エリア毎に1台で年間いくら売り上げ、収入がわかるリストがあると思います。誰でも見せてくれるわけではないと思いますが。

会長 修理は市内事業者ですが、キョーエイの仕入れ先は市内ではないので、キョーエイだけに儲からせる為の事業に意味はあるのでしょうか。よって、年商よりも納税がどれだけ上がったかが効果になります。本来とくし丸がなければ（消費者は）どこから購入していたのかと考えるとキャッシュアウトしていますので。

委員 結果的にはそうですね。地元には小売店があり、自分の車で買い物に行きますが、小売店ととくし丸が競合した場合は利便性や品数から地元の小売店は負けてしまいます。

会長 スーパーを辞めてとくし丸にする場合がありますよね。スーパーだけではお客さんが来ないので、移動販売店舗に変わること、商圈が広がり儲かるため、潰れそうなスーパーにお店を閉めるのであれば移動販売をしませんかというのが理屈だと思います。大事なことは、商品の流通が市内商域にまわるように考えなければいけません。それとキッチンカーはどういう方がするのでしょうか。

事務局 創業をしたいが、資金がなく店舗までは持てない方です。

会長 何屋さんでしょうか。キッチンカーを貸し出すビジネスもありますよね。

事務局 今年度、実際に来た案件はタピオカドリンクの販売でした。

会長 理屈はアリーナの広場でキッチンカーが来てくれると、保健所がなくても飲食ができるので便利なことは確かです。立教大学ではお昼にキッチンカーがきてお弁当の提供をしています。市内のイベント等に来てくれたらありがたいですね。

委員                    チャチャハウスのキッチンカーをわざわざ呼んだりしていますよね。

会長                    市内のイベントは市内事業者に儲けてもらいたいですよね。地域内経済循環の議論は、事業者の調達先まで考えないといけません。なるべく域内調達をして、なるべくキャッシュインすることなのですが、そのような事業者はいないので、少しずつ事業者を増やしていくことから考えていきましょう。他はよろしいでしょうか。

委員                    (特になし)

【日程3 閉会】

会長                    (閉会の挨拶)